

《くらしの知恵袋》「ストッキングで靴磨き」

履き古しのストッキングで靴を磨きます。クリームなどは一切不要です。ストッキングを磨きやすい形に丸め、カラ拭きすれば靴はピカピカになります。

まちのできごと

恒久の平和を願う

藤里町戦没者追悼式

8月20日、総合開発センターにおいて戦没者追悼式が挙行され、遺族の方々や関係者ら約70名が出席しました。

戦争終結から62年目を迎えた今年は、戦没者209名の英霊に黙とうを捧げた後「遠い異郷の地で、祖国を思い、愛しい家族を案じながら戦渦に倒れていった戦没者の方々に改めて思いを馳せ、心から「冥福をお祈り申し上げます。今年も各地で平和を願う鐘が鳴りましたが、この祈りの日を契機に、平和や自由の尊さ、核兵器の恐ろしさを末永く次の世代に語り継ぎ、恒久平和の実現を目指して参りたい」と石岡町長より式辞が述べられました。

続いて、伊藤山本福祉事務所長や田代町議会議長、遺族会を代表して池端和子さんより追悼の言葉が述べられ、その後遺族や来賓らは祭壇に献花をして戦没者の冥福を祈るとともに、世界の恒久平和を誓いました。



恒久平和を願う

きれいな町で国体の火を

若者部会が清掃活動

8月25日、井戸端会議「若者部会」(村岡信裕座長)によるクリーンアップ活動が行われ、会員やその家族ら30名余りが参加しました。



一つ一つゴミを拾いました

この会は、社会福祉協議会の地域福祉施策の一環として、町の福祉・活性化のために何が必要かと、若い世代を集めて意見交換したことから始まり、「若い者にできること、町の活性化のために何かやってみよう」と発足しました。

この日は、第1弾の企画として「国体の採火式、炬火リレーの会場をきれいにしておきたい」として、遺産センター周辺のクリーンアップ活動に汗を流していました。

事故のない明るい社会を

右足での全国行脚

交通事故で右足を失いながらも、全国

各地を回り、交通安全を呼びかけている北海道出身の西村互さん(82歳)が8月28日、藤里町役場を訪れました。

西村さんは、オートバイで全国を回り、交通安全を呼びかける運動を展開していましたが、3年前に後続車に追突されて転倒し右足を切断。それでも全国各地を回ることをあきらめず、沖縄県の自動車教習所で運転免許を取得し、身体障害者用の軽自動車ですべて全国行脚を続けています。

この日は、村岡副町長や成田町民生活課長らの出迎えを受け、「尊い命」と書かれた直筆の色紙を手渡し、交通事故のない明るい社会をつくりましようと呼びかけました。



事故のない社会を目指し活動中

会場は笑いの渦に

白神山地「寄席」

9月6日、総合開発センターにおいて、町教育委員会が主催する第12回白神山地寄席が開催されました。

この日は、三遊亭楽太郎師匠と柳貴家小雪さんのお2人が出演され、落語や大